

調査コラム第 48 回「ふたつあった千鳥橋」一部訂正

調査コラム第 48 回に「ふたつあった千鳥橋」と題して筆者が発表した末次の千鳥橋について、古写真 1「湖畔松崎水亭の観月」西から見る（今岡ガクブチ店提供）に写る橋は、読者からの指摘があり、「千鳥橋」ではなく「末次橋」ではないかと考えられるに至りましたので、訂正します。

末次埋立地の造成後に架橋されたと思われる「末次橋」の存在は、気付いていませんでした。また、「末次橋」が記載される大正 14 年発行の「最新松江市全圖」は見落としていました。

読者からの指摘とその後の筆者の検討をまとめますと、

- (1) 古写真 1 に写る須衛都久神社の大灯籠と「千鳥橋」とした橋との距離間隔が近すぎる。写真に写る橋は「千鳥橋」とは別の橋ではないか。大正 14 年発行の「最新松江市全圖」に見える「末次橋」ではないか。
- (2) 古写真 1 の左端中央付近に田野医院の屋根、壁、窓の一部が写っていること、右下には末次公園の北西角が写っていることから、この写真は田野医院よりさらに南西側の水路を隔てたやや高い所から、東方に上った満月を撮影したものである。
- (3) 上記のことからこの古写真 1 は、松崎水亭 2 階の座敷から東方嵩山と和久羅山の間に上る満月を撮影したものである。従って、千鳥橋や伊野屋灘は手前にあって写真には写っていない。
- (4) 結論的にこの絵葉書写真に写る橋は、「千鳥橋」ではなく「末次橋」である。位置的には今の松江市役所の本庁舎の北東角の交差点付近になるものと考えられる。従って「千鳥橋」の根拠資料の一つとした古写真 1 は削除する。
- (5) なお、末次橋の詳しいことについては今後調べてみる必要がある。

（筆者：岡崎雄二郎。2025 年 9 月 8 日記）